チャイルド シート

取扱説明書

このたびは、Honda 純正用品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切に保管してください。

●当商品はHonda 車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。（商品の適用車種は販売店にご確認ください。）

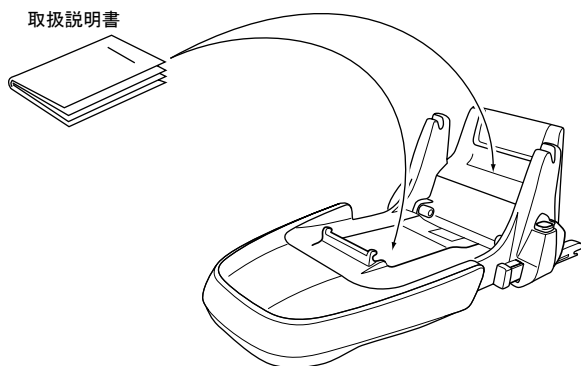
●商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

Honda Access

ご使用になる前に

ご使用の前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い、正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

このチャイルド　シートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗車装置です。
チャイルド　シートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。

取扱説明書は、ベースのいずれかの場所に入れて保管してください。

当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしていただきたいと存じます。
つきましては、同梱のお客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、弊社までお送りいただきたくお願いいたします。

ISOFIX チャイルド シートについて

ISOFIX チャイルド シートの仕様

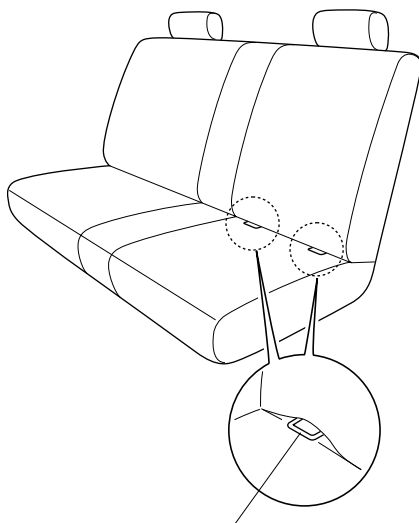
このチャイルド シートはお車に装備されているISOFIX ロア アンカレッジに固定して使用します。ご使用の際には必ずお車の取扱説明書を合わせてご確認いただき、下記ISOFIX チャイルド シートに対応しているかを確認してください。

体重	グループ	カテゴリー	サイズ等級	固定具
13 kg 未満	0+	セミ ユニバーサル（準汎用）型	E	ISO/R1
			D	ISO/R2
			C	ISO/R3
9 ～ 18 kg	I	セミ ユニバーサル（準汎用）型	B	ISO/F2
			B1	ISO/F2X
			A	ISO/F3

ISOFIX ロア アンカレッジ

ISOFIX ロア アンカレッジとは、ISOFIX チャイルド シートを取り付ける為に、お車のシート背もたれと座部との間に装備された棒状の取り付け具です。詳しくはお車の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 警告

- チャイルド シートは、お車のシートベルトを使った取り付けはできません。

お取り付けの流れ

必ずお読みください P. 6 ～ 13
ご使用上の注意 P. 14 ～ 15

乳児用
お子さまの体重
13 kg 未満

取り付け前の準備 P. 16 ～ 21
- 肩ハーネスを肩と同じか､低い位置に調整する。
- インナー クッションを取り付けます。
（体重 7 kg 未満の場合）

ベースの取り付け P. 22 ～ 25
- ベースをお車に取り付けます。

本体の取り付け P. 26 ～ 27
- 本体をお車の進行方向に対し後ろ向きに、ベースに取り付けます。

お子さまの乗せ降ろし P. 28 ～ 31

本体、ベースの取り外し P. 38 ～ 39

幼児用
お子さまの体重
9 ～ 18 kg

取り付け前の準備 P. 16 ～ 21
- 肩ハーネスを肩と同じか､高い位置に調整する。
- インナー クッションを取り外します。

ベースの取り付け P. 22 ～ 25
- ベースをお車に取り付けます。

※ すでに取り付いている場合には必要ありません。

本体の取り付け P. 32 ～ 33
- 本体をお車の進行方向に対し前向きに、ベースに取り付けます。

お子さまの乗せ降ろし P. 34 ～ 37

本体、ベースの取り外し P. 38 ～ 39

目次

ご使用になる前に. 2

ISOFIX チャイルド シートについて 3

取り付けの流れ. 4

必ずお読みください. 6

- ◆ マーク表示について 6
- ◆ 緊急時には 7
- ◆ 各部の名称と梱包内容 8
- ◆ お子さまに合った使いかた . . 10
- ◆ 取り付けできるシート 12
- ◆ 取り付けできないシート 13

ご使用の注意. 14

- ◆ お子さまを乗せるときには . . 14
- ◆ チャイルド シートを取り付けるときには 14
- ◆ こんなことにも注意して 15

取り付け前の準備. 16

- ◆ 肩ハーネスの高さを確認する. . 16
- ◆ 肩ハーネスの高さを調整する. . 18
- ◆ インナー クッションの取り付け . 20
- ◆ インナー クッションの取り外し . 21

ベースの取り付け. 22

- ◆ 取り付け方法 22

乳児用としてご使用する場合（体重 13 kg 未満）. 26

- ◆ 本体の取り付け方法 26
- ◆ お子さまの座らせかた 28
- ◆ お子さまの降ろしかた 30

幼児用としてご使用する場合（体重 9 ～ 18 kg）. 32

- ◆ 本体の取り付け方法 32
- ◆ お子さまの座らせかた 34
- ◆ お子さまの降ろしかた 36

お車からの取り外し. 38

- ◆ 本体の取り外し 38
- ◆ ベースの取り外し 39

お手入れのしかた. 40

- ◆ シート クッションの取り外し . . 40
- ◆ シート クッションの取り付け . . 41
- ◆ 各部のお手入れ 41
- ◆ 補修部品について 42
- ◆ 製品情報 42

必ずお読みください

マーク表示について

●本書では、運転者や他の人が傷害をおったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険

●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

●指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

アドバイス

- 当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
- 異常事態の処置方法を記載しています。
- 当商品を確実にお取り付けしていただくためのアドバイスを記載しています。

知　識

知っておいていただきたいこと、
知っておくと便利なことを記載しています。

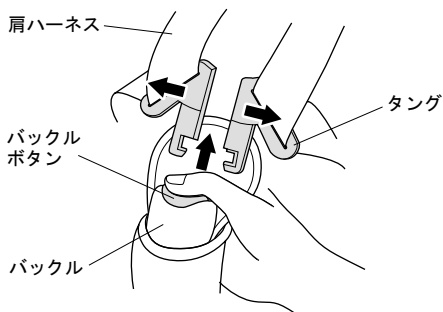
緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

1

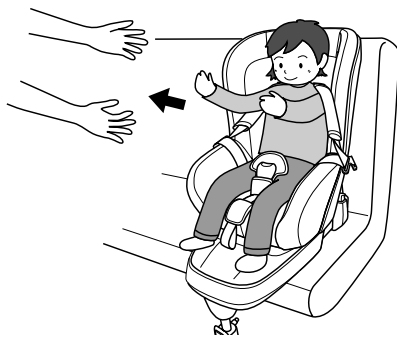
バックルボタンを押してバックルからタングを外します。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

2

お子さまを静かにチャイルド シートから降ろします。

アドバイス

・ バックル ボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどして、お子さまを救出してください。

各部の名称と梱包内容

チャイルド　シート、ベースと合わせてご確認ください。ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（0120-663521）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、認可ラベルに記載されている認可ナンバーを必ずお伝えください。（42 ページ）

本体

※ 出荷時は本体に取り付いています。

本体取り付け部 B

コネクター
調整ボタン

本体脱着
ボタン

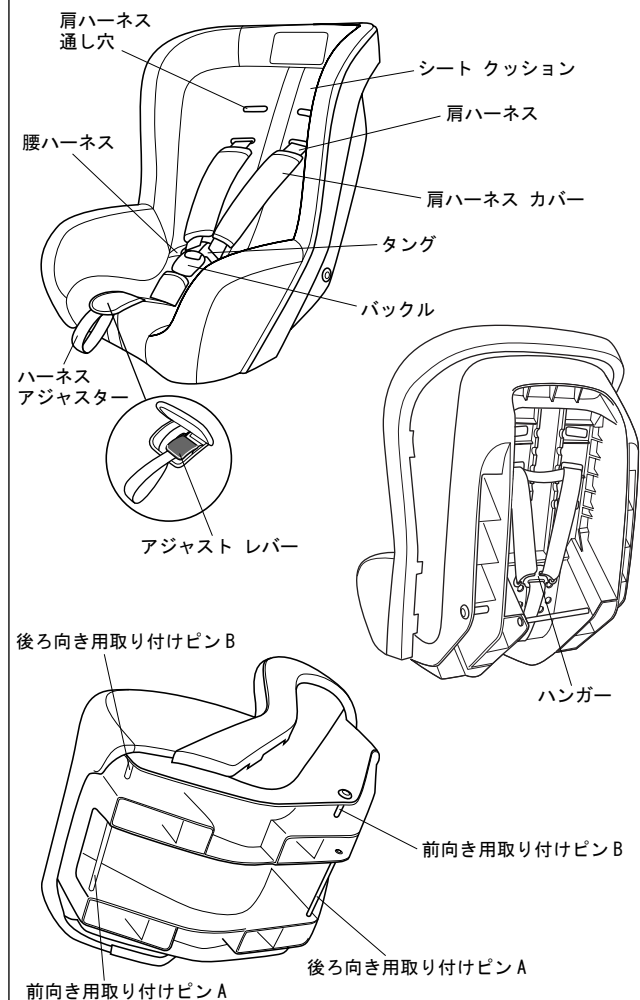
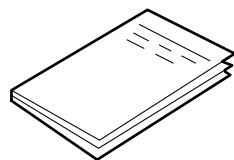
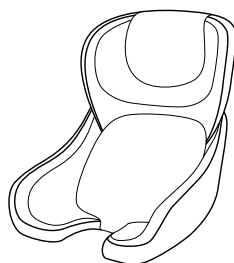
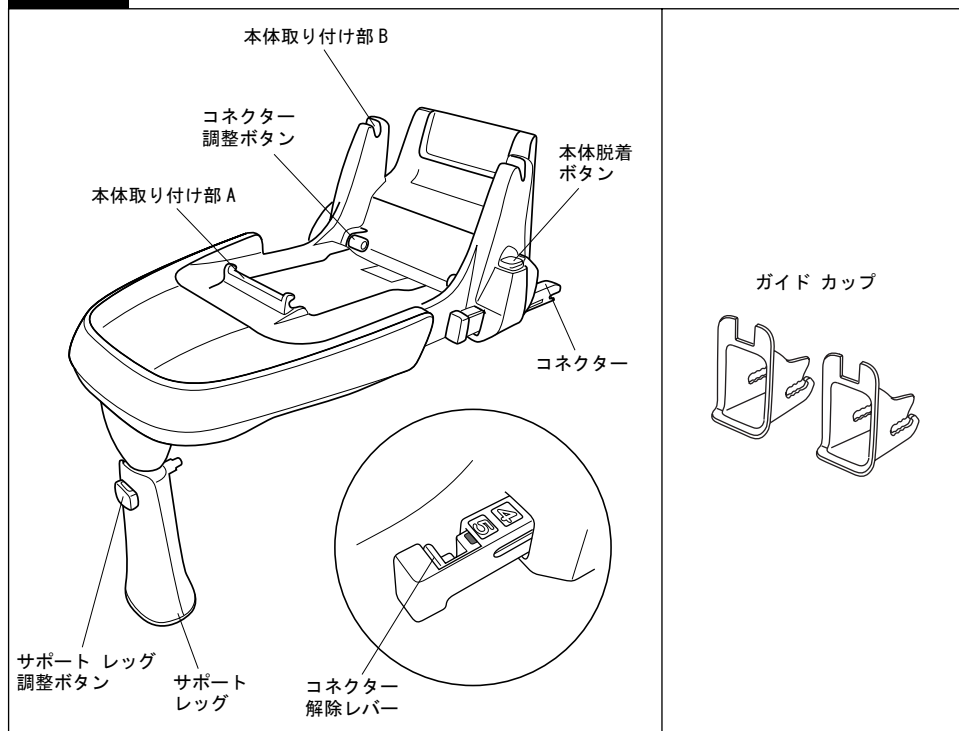
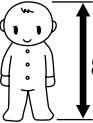
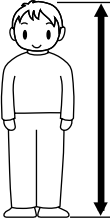
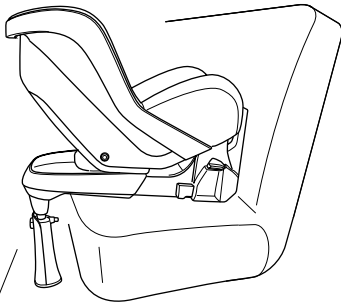
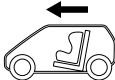
本体取り付け部 A

コネクター

サポート レッグ
調整ボタン

サポート
レッグ

コネクター
解除レバー

ガイド カップ

お子さまに合った使いかた

チャイルド シートはお子さまの年齢や体重により、取り付けかたが異なります。ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

⚠ 警告

●お子さまの体重が 9 kg を超えるまでは前向きで使用しないでください。

体重	13 kg 未満	9 kg ～ 18 kg
参考年齢	新生児～1 歳半ごろ	9 ヶ月～4 歳ごろ
参考身長	80 cm 未満	70 ～ 100 cm
取り付けかた	お車の進行方向に対し、後ろ向きで使用します。	お車の進行方向に対し、前向きで使用します。

アドバイス

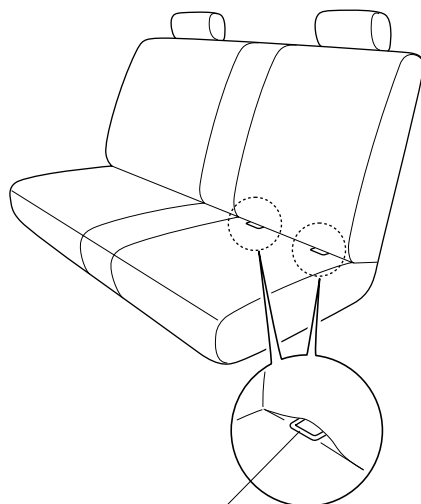
・ 年齢、身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

取り付けできるシート

進行方向に対し前向きで、下表に対応したISOFIX ロア アンカレッジが装備されているお車のシート

ISOFIX ロア アンカレッジとは、ISOFIX チャイルド シートを取り付ける為に、お車のシート背もたれと座部との間に装備された棒状の取り付け具です。詳しくはお車の取扱説明書をご確認ください。

アドバイス

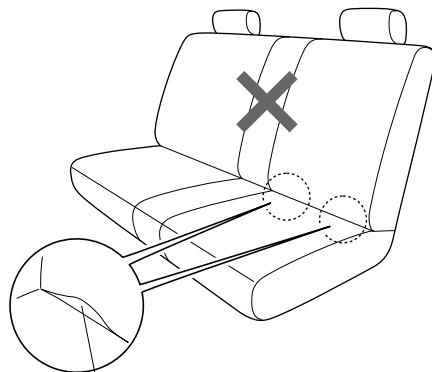
・お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書も合わせてご確認ください。

ISOFIX チャイルド シートの仕様

体重	グループ	カテゴリー	サイズ等級	固定具
13 kg 未満	0+	セミ ユニバーサル（準汎用）型	E	ISO/R1
			D	ISO/R2
			C	ISO/R3
9 ～ 18 kg	I	セミ ユニバーサル（準汎用）型	B	ISO/F2
			B1	ISO/F2X
			A	ISO/F3

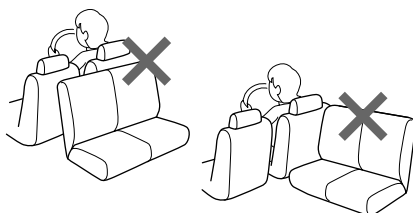
取り付けできないシート

⚠ 警告

●お車のシートが下記タイプに該当する場合は、チャイルド　シートを取り付ける事ができません。取り付けた場合、事故時にお子様や他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

■ISOFIX ロア　アンカレッジが装備されていないシート

ISOFIX ロア　アンカレッジがない

■前方にエアバッグが装備されたシート

■横向き・後ろ向きになっているシート

■チャイルド　シートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート

ご使用上の注意

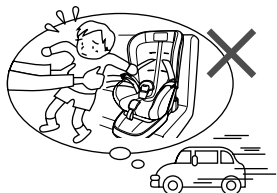
お子さまを乗せるときは

⚠ 警告

1

お子さまだけお車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故（熱射病やいたずらによる事故等）につながるおそれがあります。

2

走行中は、お子さまをチャイルド シートから乗せ降ろしさせないでください。

3

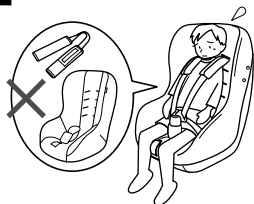
ハーネスは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。ねじれていると事故のときに重大な傷害を負う可能性があります。

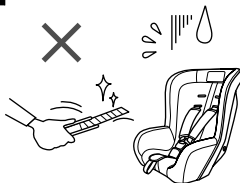
4

腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負う可能性があります。

チャイルド シートを取り付けるときは

⚠ 警告

1

チャイルド シートを安全に使用していただくため、柔軟材料（専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等）を取り外したり専用品以外に取り換えて使用しないでください。

2

チャイルド シートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。傷ついているとチャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。

3

取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。

⚠ 警告

1

事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルド シートにも目に見えない破損があるおそれが強いので、再使用しないでください。

2

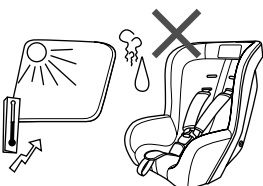
チャイルド シートのロック部分（バックル、コネクター、ベースの本体取り付け部等、）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

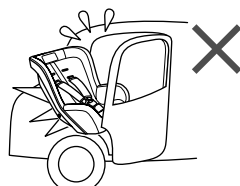
3

チャイルド シートを保管するときには、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。

⚠ 注意

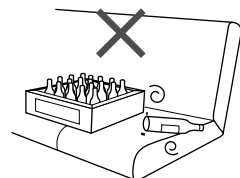
1

チャイルド シートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、使用してください。

2

可動式シートまたは車両のドアにチャイルド シートの剛性部分（樹脂部分等）が挟まれないようにしてチャイルド シートを取り付けてください。

3

ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつける恐れがあります。ベースを車室内に置く場合は、安全のためISOFIXロアアンカレッジに取り付けたベースにチャイルド シートを固定しておいてください。

4

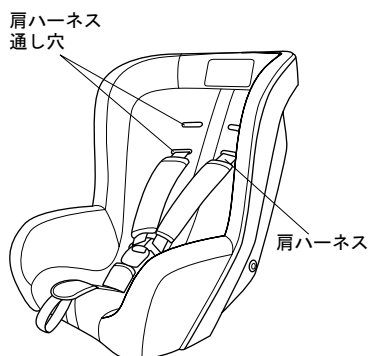
事故発生時や乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。

肩ハーネスの高さを確認する

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置を調整することができます。

肩ハーネス
通し穴

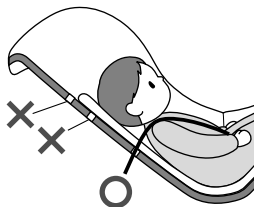
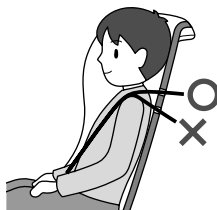
肩ハーネス

アドバイス

・ 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルド シートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
・ お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」（乳児用 : 28 ページ、幼児用 : 34 ページ）をご参照ください。

お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（18 ページ）を参照し、正しい位置に調整してください。

⚠ 警告

●ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

◆ 後ろ向き（体重 13kg 未満）
一番下の肩ハーネス通し穴を使用してください。（下から 1 番目のみ）

◆ 前向き（体重 9 ～ 18kg）
肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、より高い位置穴を使用してください。
（上から１、２番目）

肩ハーネスの高さを調整する

1

アジャスト　レバーを持ち上げながら、
肩ハーネスをすべて引き出します。

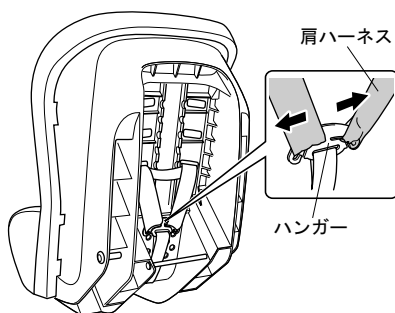
アドバイス

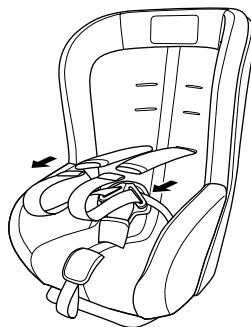
・肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネス カバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネス　カバーを引っ張っても、引き出せません。

2

本体背面の肩ハーネスをハンガーから外します。

⚠ 注意

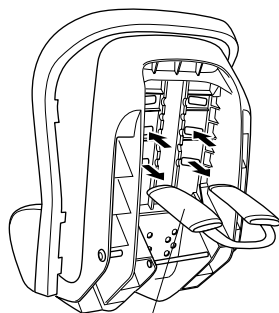
直射日光が当たってハンガーが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますで、ご使用時には十分注意してください。

3

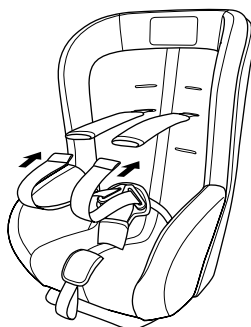
肩ハーネス通し穴から、肩ハーネスを引き抜きます。

4

肩ハーネス　カバーをチャイルド　シート背面から引き抜いて、適切なハーネス通し穴に差し替えます。

アドバイス

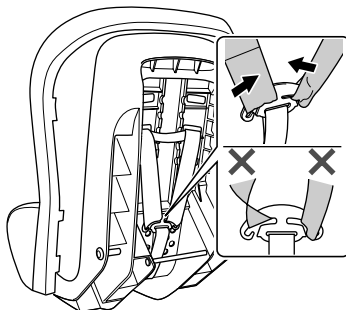
・肩ハーネス　カバーには表裏があります。パッドがある側を裏（お子さまの肩に当たる）側にしてください。

パッド

5

肩ハーネスをハーネス通し穴に差し込みます。

6

肩ハーネスをハンガーに取り付けます。

⚠ 警告

●肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。
●肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

インナー クッションの取り付け

※ 出荷時には本体に取り付いています。

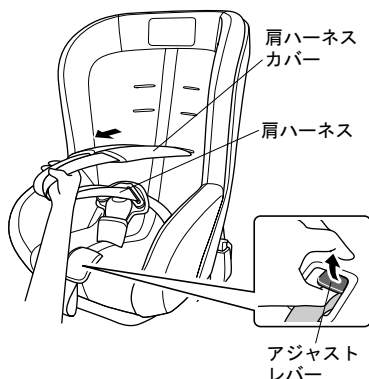
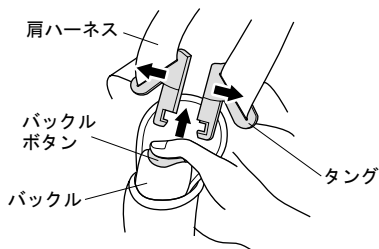
インナー クッションは、お子さまの体重が７ ｋｇ未満（参考年齢６ヶ月未満）の場合にのみご使用になれます。

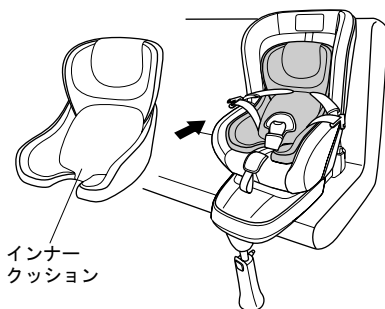
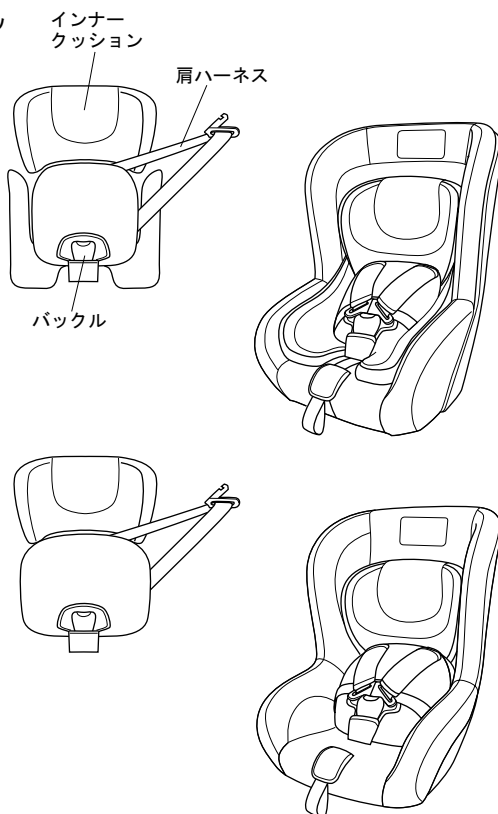
1

アジャスト レバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

アドバイス

・ 肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネス カバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネス カバーを引っ張っても、引き出せません。

2

バックル ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

3

チャイルド シート座面にインナー クッションを置きます。

インナー クッションの取り外し

「インナー クッションの取り付け」と逆の手順で取り外してください。

ベースの取り付け

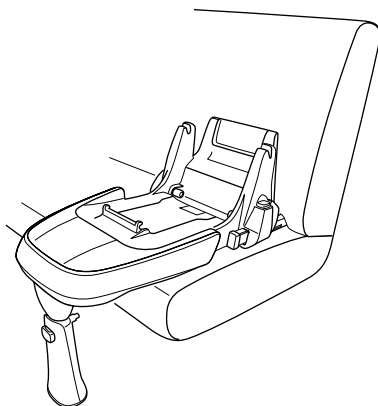
取り付けイメージ

ベースをお車のISOFIXロア アンカレッジに固定し、サポート レッグが床に着くよう調整します。

⚠ 注意

●取り付けの際には可動部分に指や物を挟まないようにしてください。
●ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつける恐れがあります。ベースを車室内に置く場合は、安全のためISOFIXロア アンカレッジに取り付けたベースにチャイルド シートを固定しておいてください。

アドバイス

・長期間、お車にチャイルド シートを取り付けることにより、シートに跡がつく場合があります。

取り付け方法

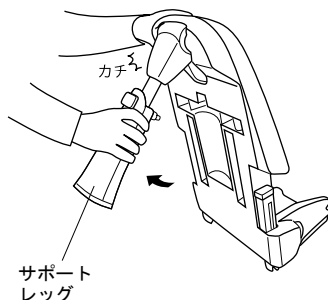
1

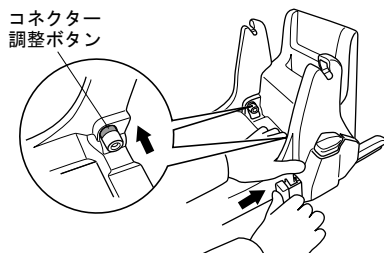
サポート レッグを引き出しロックします。

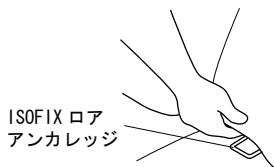
⚠ 警告

●ロックしていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

●可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

2

コネクター調整ボタンを押した状態で、コネクターを全て押し出します。

3

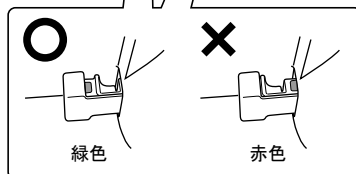
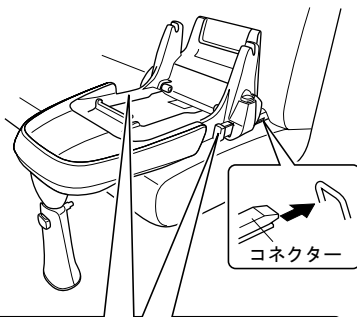
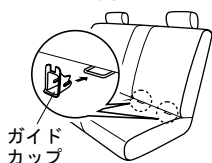
お車のシート背もたれと座面の隙間を少し広げ、ISOFIX ロア　アンカレッジの位置を確認します。

4

コネクター部を ISOFIX ロア　アンカレッジに「カチャ」とロック音がし、両方のインジゲーターの赤色部分が緑色に変わるまで差し込みます。

⚠ 警告

●コネクターは必ず正しいロック状態にしてください。正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

アドバイス

・取り付けにくい時は、ISOFIX ロア　アンカレッジに付属のガイドカップを差し込み、ご使用ください。

5

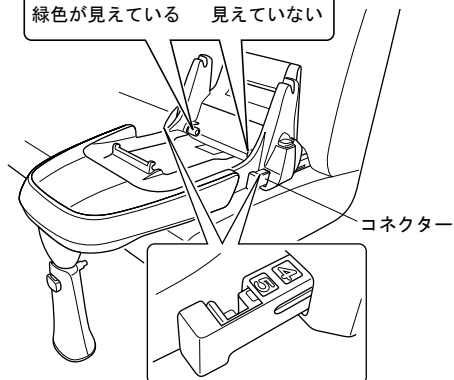
両側のコネクター調整ボタンを押しながら、ベースをお車のシートにしっかりと押さえ付けます。

アドバイス

・お車により、しっかり押さえつけてもベースとシートとの間に隙間が生じるものがあります。シートがリクライニングする場合は、できるだけ隙間が小さくなるよう、リクライニング角度を調整してください。

左右のコネクター調整ボタンがロック位置（緑色のラベルが見える状態）まで戻っていることを確認してください。またコネクターの左右の数字が同じ事を確認してください。

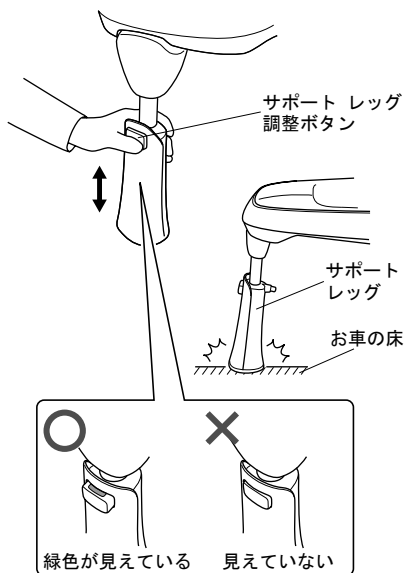
アドバイス

・コネクター調整ボタンがロック位置に戻っていない場合（緑色のラベルが見えていない状態）は、ベースを前後にゆらしてロックさせてください。

6

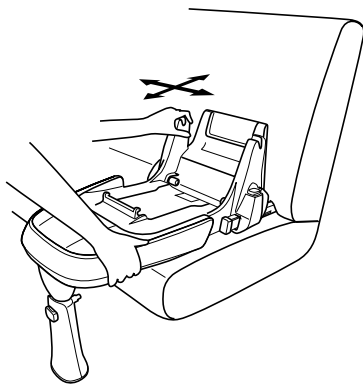
サポート　レッグ調整ボタンを押し、サポート　レッグの先端が必ずお車の床に接触するように高さを調整してください。また調整後、ボタンの緑色の表示が見えロックしていることを確認してください。

⚠ 警告

- サポート　レッグの先端が必ず床に接触していないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。
- ボタンがロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

・サポート　レッグを床に接触させると、お車のシートとベース底面に少し隙間ができる場合があります。
・事故などの際、強い衝撃を受けると、ロックが解除できなくなることがあります。

取り付けチェック

ベースがしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。
ぐらつきがある場合は「ベースの取り付け」(P23)手順2からやり直してください。

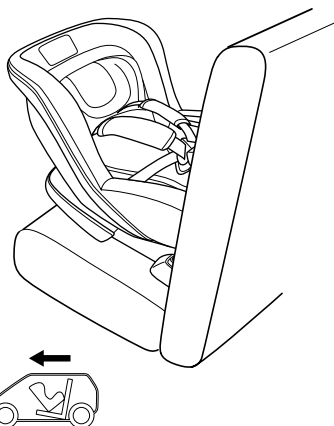
・ベースの取り外し方はP39を参照ください。

取り付けイメージ

お車の進行方向に対し、後ろ向きになるよう本体をベースに取り付けます。

⚠ 注意

●可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

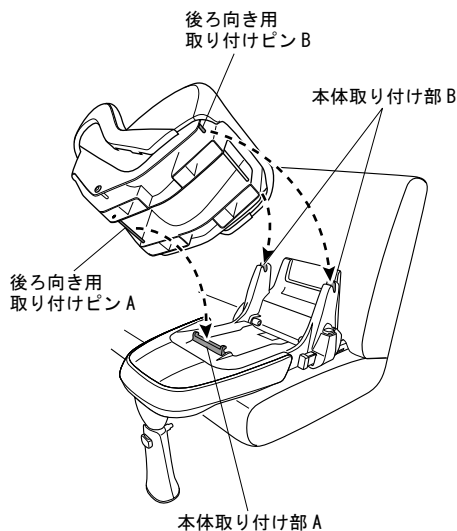
アドバイス

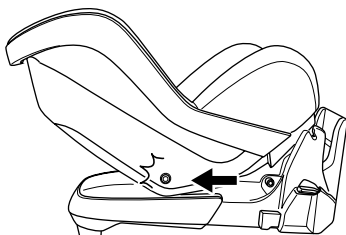
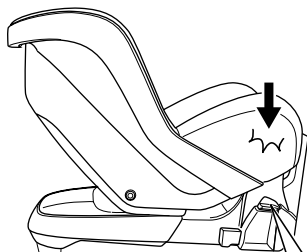
・ 長期間、お車にチャイルド シートを取り付けることにより、シートに跡がつく場合があります。

本体の取り付け方法

1

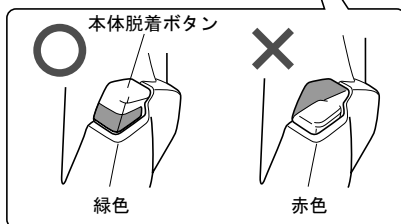
ベースに本体を後ろ向きに取り付けます。
本体底面の 3 箇所のピンを次のページの手順でベースの取り付け部に差し込みます。

⚠ 警告

●ベースの上に物が無い事を確認してから本体を取り付けてください。ベースの上に物があると本体が正しくロック出来ず、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

次ページにつづく

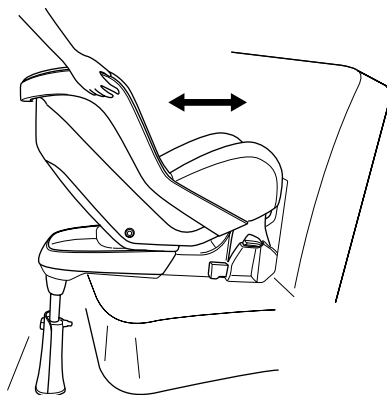
はじめに、本体をベースの上に置き、滑らすようにして本体の「後ろ向き用取り付けピンA」をベースの「本体ロック部A」にロックする。

次に、本体の前端を押し付け、本体の「後ろ向き用取り付けピンB」をベースの「本体ロック部B」にロックする。

正しくロックすると、ベース側面の本体脱着ボタンが上がり、緑色のラベルが見える状態となります。必ず左右両側とも確認してください。

⚠ 警告

●全てのピンが正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

取り付けチェック

本体がベースにしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「本体の取り付け」(P26) 手順1からやり直してください。

アドバイス

・ 本体の取り外し方はP38を参照ください。

1

アジャスト　レバーを持ち上げながら、
肩ハーネスを引き出します。

・肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネス　カバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネス　カバーを引っ張っても、引き出せません。

2

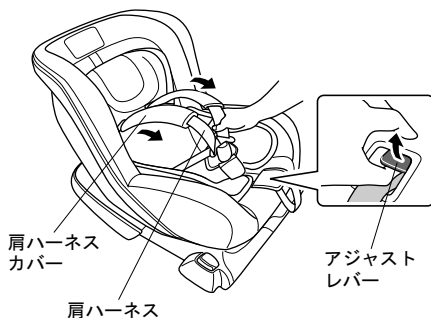
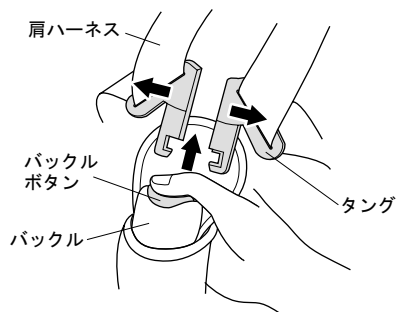
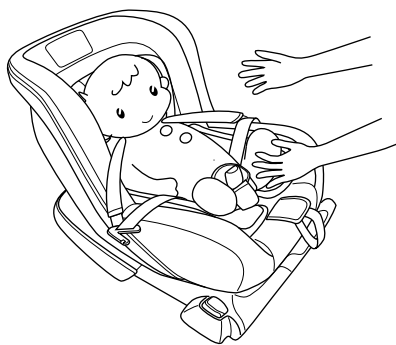
バックル　ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

3

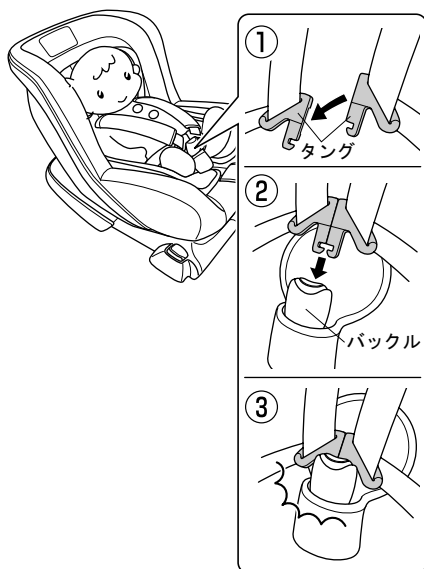
お子さまをシート　クッションの上に深く座らせます。

4

肩ハーネスをお子さまの肩にかけます。
① 左右のタングを合わせ、
② 合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、
③「カチッ」と音がするまで差し込みます。

⚠ 警告

●タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルド シートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

アドバイス

・ タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。

5

肩ハーネスを引っ張り、腰ハーネスのたるみを取ります。
ハーネス アジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取ります。

⚠ 警告

●ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分な隙間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルド シートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

1

アジャスト　レバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

・肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネス　カバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネス　カバーを引っ張っても、引き出せません。

2

バックル　ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

⚠ 注意

●可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

3

お子さまを静かにチャイルド　シートから降ろします。

・緊急時にバックル　ボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

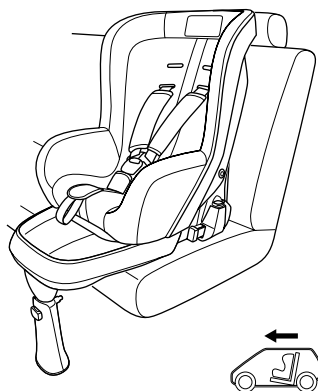
幼児用としてご使用する場合（体重 9 ～ 18 kg）

取り付けイメージ

お車の進行方向に対し、前向きになるよう本体をベースに取り付けます。

⚠ 注意

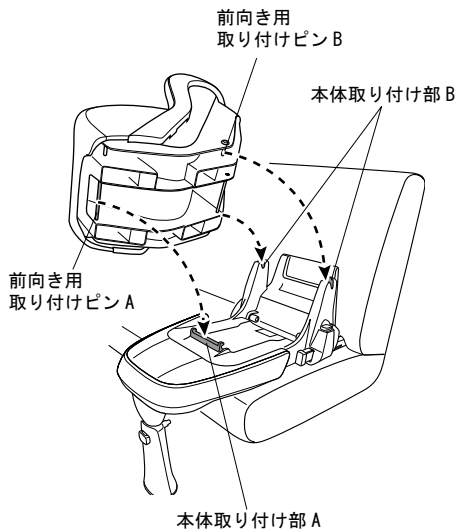
● 可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

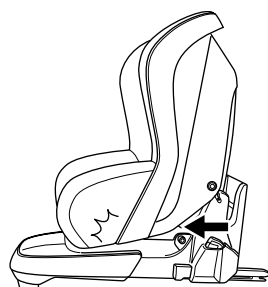
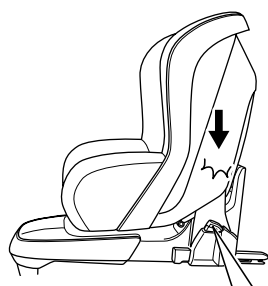
・ 長期間、お車にチャイルド シートを取り付けることにより、シートに跡がつく場合があります。

本体の取り付け方法

1

ベースに本体を前向きに取り付けます。本体底面の 3 箇所のピンを次のページの手順でベースの取り付け部に差し込みます。

⚠ 警告

● ベースの上に物が無い事を確認してから本体を取り付けてください。ベースの上に物があると本体が正しくロック出きず、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

次ページにつづく

はじめに、本体をベースの上に置き、滑らすようにして本体の「前向き用取り付けピンA」をベースの「本体ロック部A」にロックする。

次に、本体の前端を押し付け、本体の「前向き用取り付けピンB」をベースの「本体ロック部B」にロックする。

正しくロックすると、ベース側面の本体脱着ボタンが上がり、緑色のラベルが見える状態となります。必ず左右両側とも確認してください。

⚠ 警告

●全てのピンが正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

取り付けチェック

本体がベースにしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「本体の取り付け」(P32) 手順1からやり直してください。

アドバイス

・ 本体の取り外し方はP38を参照ください。

1

アジャスト　レバーを持ち上げながら、
肩ハーネスを引き出します。

・肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネス カバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネス　カバーを引っ張っても、引き出せません。

2

バックル　ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

3

お子さまをシート　クッションの上に深く座らせます。

4

肩ハーネスをお子さまの肩にかけます。
① 左右のタングを合わせ、
② 合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、
③「カチッ」と音がするまで差し込みます。

⚠ 警告

●タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルド シートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

・ タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。

5

肩ハーネスを引っ張り、腰ハーネスのたるみを取ります。
ハーネス アジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取ります。

⚠ 警告

●ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルド シートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

お子さまの降ろしかた

1

アジャスト　レバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

アドバイス

・肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネス　カバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネス　カバーを引っ張っても、引き出せません。

2

バックル　ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

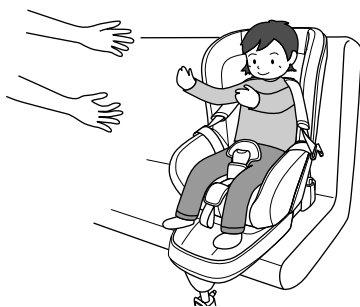
⚠ 注意

●可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

3

お子さまを静かにチャイルド　シートから降ろします。

アドバイス

・緊急時にバックル　ボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

本体の取り外し

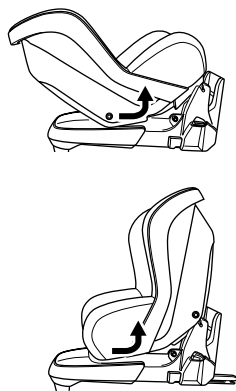
1

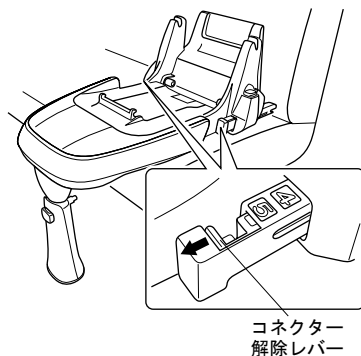
本体脱着ボタンを押したまま、ベース後方に取り付いているピンを外します。

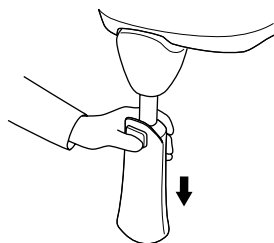
⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

2

次に、本体をベース後方に少しずらし、上に持ち上げ、ベース前方に取り付いているピンを外します。

1

両側のコネクター解除レバーを手前に引きロックを解除し、お車のＩＳＯＦＩＸロアアンカレッジからベースを取り外します。

2

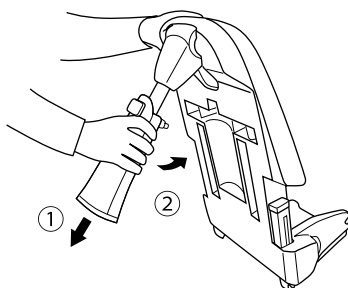
サポート レッグを一番縮めた状態から、1 段だけ伸ばします。

3

サポート レッグを引っ張りながら、折りたたみます。

⚠ 注意

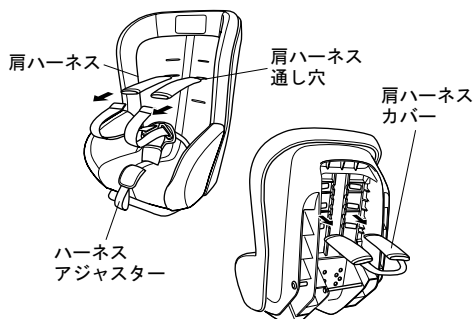
●可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

アドバイス

・ サポート レッグを引っ張る時にはサポート レッグ調整ボタンを押さないでください。

お手入れのしかた

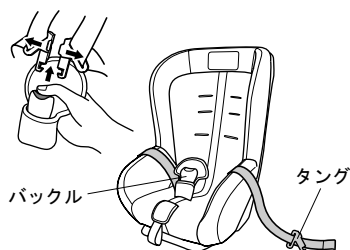
シート クッションの取り外し

1

「肩ハーネスの高さを調整する」(P18)の手順１～４を参照し、肩ハーネスと肩ハーネス　カバーを肩ハーネス通し穴から引き抜きます。また、ハーネス アジャスター端末のホックを外します。

2

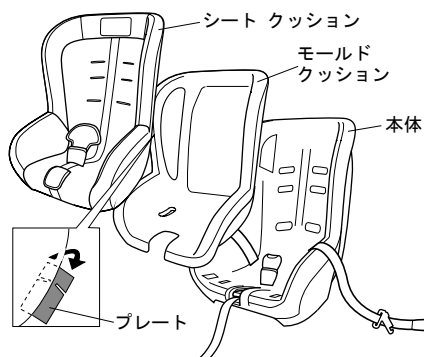
バックル　ボタンを押し、バックルからタングを外します。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

3

シート クッション裏面のプレートを本体から外し、シート クッション、モールド クッションを本体から取り外します。

アドバイス

・ プレートは数箇所あります。商品により、プレートの位置、形状が異なります。

シート クッションの取り付け

取り外しと逆の手順でシート クッションを取り付けます。

⚠ 警告

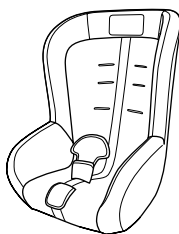
●専用クッション以外は使用しないでください。
事故時に十分な性能を発揮しない可能性があります。

各部のお手入れ

クッション類

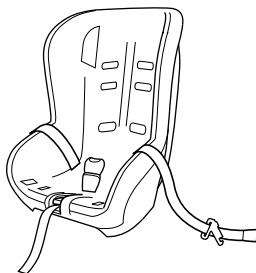
中性洗剤を使用して、手で押し洗いをしてください。

⚠ 注意

●洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
●洗濯機は使用しないでください。崩れや、やぶれることがあります。

本体

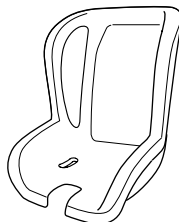
シート フレームなどのプラスチック部が汚れた場合は、やわらかい布で乾拭きまたは水拭きしてください。

⚠ 注意

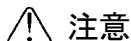
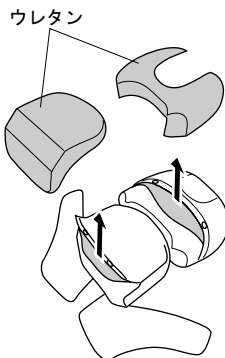
●洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
●水拭き後は、完全に乾燥させてから使用してください。

モールド クッション

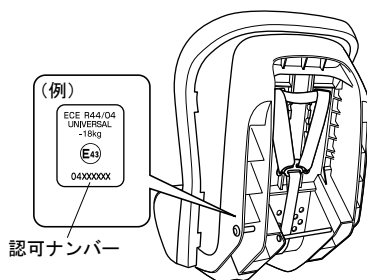
柔らかい布で乾拭きしてください。

⚠ 注意

●洗濯しないでください。

各部のお手入れ

インナー クッション

頭と背中に入っているウレタンを背面から取り出し、中性洗剤を使用して、手で押し洗いしてください。取り出したウレタンは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
- 洗濯機は使用しないでください。
  崩れや、やぶれることがあります。
- 内部のウレタンは洗濯しないでください。

補修部品について

お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（0120-663521）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルド シート背面に貼っているラベルの品番を必ずお伝えください。
もし、背面ラベルが無い場合には、側面にあるラベルに記載されている認可ナンバーをお伝えください。

製品情報

本製品は協定規則第 44 号に基づき認可されております。

●商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または、（株）ホンダアクセス
お客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」全国共通フリー ダイヤル
0120－663521（受付時間: 9時～ 12時 13時～ 17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

発売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番4号

08P90-E2P-0000-80